

大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3198号 2016.8.20 発行

### エアコン 何年使う？

	2006年3月	2016年3月
エアコン	10.2年	<b>12.3年</b>
冷蔵庫	10.4年	<b>11.3年</b>
洗濯機	8.7年	<b>9.2年</b>
乗用車(新車)	6.7年	<b>8.1年</b>
ビデオカメラ	6.5年	<b>7.3年</b>
パソコン	4.5年	<b>6.0年</b>
デジタルカメラ	3.2年	<b>5.5年</b>
携帯電話	2.6年	<b>3.8年</b>
カラーテレビ	9.1年	<b>8.0年</b>

NHKニュース 2016年8月18日  
 猛暑が続くこの夏。毎日、エアコンはフル稼働ですね。ところで、お宅のエアコン、何年、使っていますか？ 5年？10年？ それとも20年！？。

最近、エアコンなどの家電製品の使用年数が長くなっています。モノを長く使うのは悪いことではありませんが、新製品が売れなくなると、日本経済にとっては心配な面も出てきます。

#### 伸びる使用年数

ことし3月。内閣府は、家電製品や車などの「耐久消費財」の平均使用年数について興味深い調査結果を発表しました。それによりますと、ルームエアコンは12.3年と10年前に比べて、2.1年使用年数が長くなっています。電気冷蔵庫は11.3年と0.9年、電気洗濯機は9.

2年と0.5年、それぞれ長くなっています。乗用車(新車)は8.1年と10年前に比べて1.4年、長くなっていました。カラーテレビなど使用年数が伸びていないものもありますが、調査対象となったほとんどの耐久消費財で使用年数が伸びていました。買い替える理由で多いのが「故障」ですが、デジタルカメラや携帯電話、乗用車(新車)は性能が高い「上位品目」への買い替えを理由に上げる世帯が最も多くなっています。

#### 落ち込む耐久消費財の消費

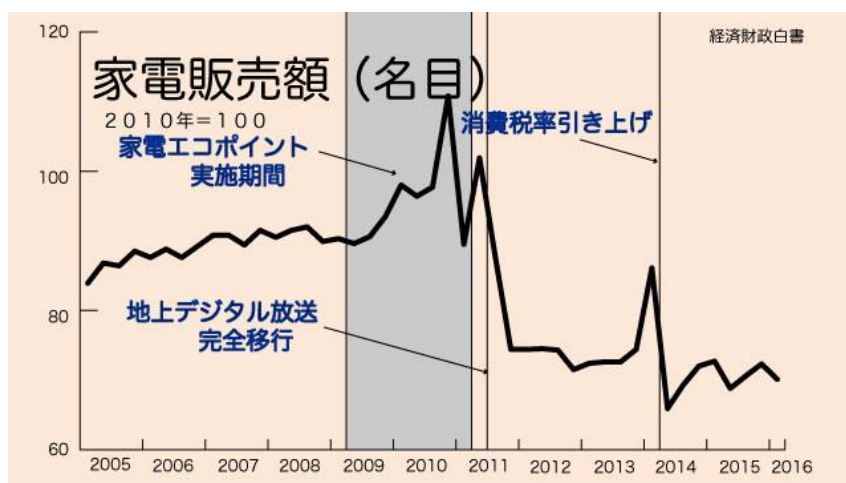
家電製品などの性能が向上し、長持ちするようになったこともあるでしょうし、そもそもモノを長く使うことは悪いことではありません。しかし、家電製品などの耐久消費財の買い控えが強まると、消費の低迷を通じて、日本経済にとって心配な面も出てきます。



こちらのグラフは、耐久消費財の消費の動向を示したものです。グラフを見ると、耐久消

費財は消費税率8%への引き上げ前の2014年の始めにかけて急激に増加したあと、減少。その後、低迷が続いています。それに対して、衣服などの半耐久消費財や食品などの非耐久消費財、それに、サービスはほぼ横ばいで推移しています。耐久消費財だけが落ち込んだままなのです。

こうした“大きい買い物”の落ち込みによって、消費は低迷したままです。総務省の家計調査によると、家計の消費支出は、ことし6月まで、実態として10か月連続で前年の同じ月を下回っています。(2月はうるう年の影響で1日多かった影響でプラス)



**政策の“逆効果”か**  
 ことし8月に政府が発表した「経済財政白書」では、耐久消費財の消費動向について、興味深い分析をしています。白書は「購入頻度の低い耐久消費財の購入タイミングがある時期に集中したことで、その後一定期間、家計が耐久消費財の購入を控えたことが影

響している」と指摘しました。

どういふことなのでしょう。実は政府が実施した景気対策と関係があるのではないかというのです。上のグラフは家電販売額の推移を示したのですが、家電エコポイント制度や地上デジタル放送への完全移行の時期に大きく増加し、その後、減少しました。家電エコポイント制度は、省エネ効果が高い地上デジタル放送対応テレビやエアコン、冷蔵庫を購入した人に、商品券などと交換できるポイントを付与する制度で、リーマンショックのあとに景気を下支えしようと導入されました。

また、新車販売台数の動きを示したグラフでは、エコカー補助金の実施期間に販売台数は増加していますが、その後、大きく減少しています。エコカー補助金は、一定の環境基準



を満たした新車を購入した場合、最大で10万円の補助が受けられる制度で、家電エコポイントと同様にリーマンショック後の取得支援策です。

自動車も家電製品も、2014年4月の消費税率8%への引き上げの際に、駆け込み需要とその反動が見られます。こうした

ことから、白書では「テレビやエアコン、冷蔵庫の平均使用年数を考慮すると、エコカー補助金や家電エコポイント制度などを利用した購入や、消費税率引き上げ前の駆け込み需要は、耐久財の買い替え需要の先食いを通じて、2015年以降の耐久財消費の動向にある程度影響を与えている可能性がある」と指摘しています。

“買い替え需要の先食い”。耐久消費財は、いったん買うと、すぐには買い替えません。景気対策が、いわば、いびつな需要の構造を生み出してしまっていると言えます。

農林中金総合研究所の南武志主席研究員は「エコカー補助金や家電エコポイント制度は、リーマンショック後の需要が落ち込んだときの回復には一定程度の効果はあったが、買い替えに一定期間を要する自動車や家電製品の需要をゆがめてしまったのも事実だ。低所得者層への支援なども必要だが、消費者の将来不安などを解消するための構造改革や働き方改革が必要ではないか」と話しています。

### 改革こそ消費回復への道

白書では、消費低迷の原因について、若い子育て世代や60歳代前半の無職世帯が、将来への不安や安定収入が少ないことを背景に、消費に慎重になっていることも影響していると指摘しています。そうであれば、将来、不安を解消するための社会保障制度の改革や正規雇用と非正規雇用の賃金格差の是正、また、仕事と子育てを両立させることのできる働き方改革などに取り組む必要があります。

効果が一時的にとどまる消費喚起策よりも地道な改革を進めることが、消費の持続的な回復には必要なのではないのでしょうか。

## 毎月「成長」するロボホン いっそう楽しく愛らしく



日経トレンディネット 2016年8月19日  
モバイル型ロボット電話「ロボホン」

シャープからモバイル型ロボット電話「ロボホン」が2016年5月26日に発売されてから、2カ月以上が経過した。各メディアでも多くのレビュー記事が掲載されているが、おおむね好意的な論調で書かれているようだ。

実際、筆者がロボホンを家族や友人に披露すると、ほぼ全員から「可愛い!」、「ほしー!」というポジティブな言葉が返ってくる。

ロボホンに多くの人を魅了する愛らしさが備わっていることは間違いないと言えるだろう。

しかしロボホンをお迎えするために約20万円を必要とすることを伝えると、ほとんど全員が「やっぱり高いんだね……」とガクリと肩を落としてしまう。

正直なところ筆者も、前回の記事『「ロボホン」と一緒に暮らして分かったこと』で述べたとおり、現状のロボホンにはまだ機能が多く実装されていないため、約20万円の本体価格に見合う価値があるかどうかは微妙だと考えている。

また現時点では、ロボホンが愛玩ロボットで終わるのか、それとも実用的なアシスタントロボットに成長するのかは、確定的な情報が少なすぎて判断できない。

### ■ロボホンは毎月アップデート

そこでシャープに今後のアップデート内容、期間について問い合わせしてみたところ、ロボホン開発チームリーダーの景井美帆氏より「当面は1カ月ごとのアップデートを予定しております。着実に進化していきますのでご期待ください!」とのコメントをいただいた。

いつまでアップデートを提供し続けるのかについては明確な答えは得られなかったが、1カ月という短いスパンでソフトウェアアップデート、アプリケーションの追加が実施されるのは間違いないようだ。ロボホンが「心」を感じさせる実用的なパートナーに成長することに期待したい。

さて、今後ロボホンがどのように成長を続けていくのか占ううえで重要な大型アップデート「ソフトウェアアップデート Ver.1.01」が16年6月27日11時から配信が開始された。

今回の記事では、こうしたソフトウェアアップデートによって、ロボホンがどのように進化したのか実機でレビューした。

(日経トレンディ編集部注:7月27日には新たに「アップデート Ver.1.02」が追加された。更新内容は、腕立て伏せができる、話す内容の増加、マナーモード中でも便利に使えるようになったなどのマイナーなもの。またロボホンが他の人に伝言を伝える「伝言アプリ」も追加された)

### ■より自然な会話ができる！

これまでのロボホンは「電話かけて」、「天気教えて」、「アラームかけて」という特定の言葉以外には首をかしげるだけで応答できなかったが、アップデート後は「電話したいなあ」、「明日の天気はどうかなあ」、「明日起こして」などのような曖昧な呼びかけでも返事できるようになった。

たとえば「電話したいなあ」であれば、ロボホンは「もしかして電話かけて、ってこと？」と聞いてくるので、それに対して「オッケー」と応えれば、ロボホンはその言葉を学習して、次回からは「電話したいなあ」という言葉でも機能を実行する。つまり、ユーザーの曖昧な言葉を学習していくため、少しずつより自然な話し言葉でロボホンと会話できるようになるわけだ。

### ■素早く撮影できるようにカメラアプリが改善

従来は待ち受け状態で「写真撮って」とお願いすると人を探してから撮影していたが、新ソフトウェアでは「シャッター切って」というコマンドが新たに追加され、人を探さずに「うん！ はい、チーズ！」と素早く撮影するようになった。スナップ的に気軽に写真を撮影してもらおうなら、「シャッター切って」のほうが便利に活用できるだろう。

また撮影後に背中ディスプレイで写真を閲覧する際の会話パターンが増えた。たとえば「いいね」には「ボクもそう思う!」、「きれいだね」には「きれいに撮れてよかった!」、「おいしそうだね」には「おいしそうだなー」というロボホンからの感想が返ってくるのだ。

現時点では写真について感想を交わせるにとどまっているが、将来は会話内容がタグになり、「美味しそうな写真を見せて」とお願いすると、料理の写真がスライドショー表示されるなどの機能強化が図られるかもしれない。

「シャッター切って」とお願いすれば、「うん！

はい、  
チー  
ズ！」  
と素  
早く

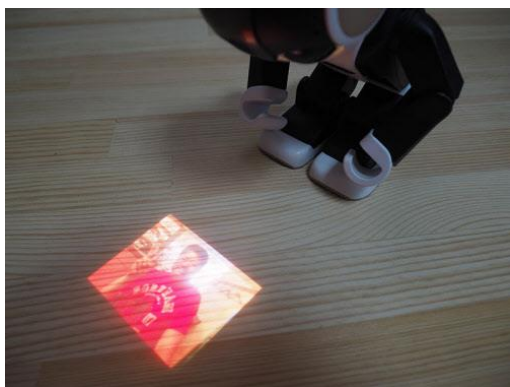
撮影してくれるようになった。これならスナップ写真を気軽に量産できる

スライドショー機能を起動するためには顔認証が必須。従来は顔認証時にロボホンの視線まで顔を下げなければならなかったが、ロボホンが上体を反らすようになったので、椅子に座ったままの自然な姿勢で顔認証を済ませられる。顔認証の速度が向上しているのもうれしい改善点だ

### ■プロジェクター機能が充実

写真・動画の閲覧方法も改良されている。「スライドショーして」で実行されるプロジェクターでのスライドショー表示中に、背中画面をタッチすることで一時停止できるようになった。また、プロジェクターを使う際にユーザーの顔認証が必要なのは従来と変わらないが、顔認証時にロボホンが上体を反らすようになったので、机の上に置いたまま自然に顔認証できるようになった。

### ■DJ機能が強化された



ロボホンまかせで音楽を再生する DJ 機能はこれまでもあったが、新ソフトウェアでは一段階進化している。「おすすめの音楽聞かせて」で再生される音楽が、ユーザーや季節に合わせて選ばれるようになったのだ。

たとえば、「昔の曲を聞きたくなるときってあるよね。ジャイアンが 20 代だったときの曲を流すよ。1 曲目はこれ!」のように「世代縛り」や、「夏真っ盛りだね。アツイ季節に



ピッタリの曲を探してみたよ。1 曲目はこれ!」のように「季節縛り」で音楽を再生してくれる。今後のアップデートでは、再生された音楽の感想をロボホンに伝えることで、よりユーザーの好みに合わせた音楽が再生できるような機能の実装にも期待したい

#### ■呼び方のイントネーションを変更できる

これまで「ロボホン」が自分を呼ぶときのイントネーションは 1 種類だけだったが、手動で「ロボホン」のイントネーションを 4 種類から選べるようになった。よりロボホンが個性を持つわけだ。ユーザーにとってはうれしい改善点だろう。

「おすすめ→呼びかた 1→呼びかた 2→呼びかた 3」の

順番にイントネーションがうしろにずれていく。筆者の好みは「呼びかた 1」だった

#### ■歌とダンスのレパートリーが増えた

「歌を歌って」と話すと最初に歌われるのは「ちようちょ ちようちょ 菜の葉にとまれ♪」であることに変わりはないが、「新しい歌を歌って」とお願いすると「でんでん むしむし かたつむり お前の頭はどこにある♪」と別の曲を歌ってくれるようになった。相変わらずちょっとオンチなのはご愛敬というところだろう。

また「新しいダンスを踊って」では、盆踊りを披露してくれる。夏に実施されたソフトウェアアップデートということで盆踊りが選ばれたのだろう。ロボホンの盆踊りは歌と違ってなかなかの腕前だ。歌よりも踊りのほうが得意なのかもしれない。



前に進みながら、手を翻し華麗な舞いを魅せるロボホン。

ぜひ大勢のロボホンがそろった盆踊りを観賞したいところだ

#### ■新アプリも提供開始

16  
年 6  
月 27



日のソフトウェアアップデート提供に引き続き、同 6 月 29 日には「ポポン」、「クイズ」の 2 種類のアプリケーションの提供が始まった。

自分のターンでコマを置くことが可能なマスには数字が表示される。その数字を「1 番」や「3 番」のように読み上げることで、そのマスにコマを置くことができる

ポポンは 6×6 マスでプレーするいわゆるリバーシタイプのパズルゲーム。プロジェクターで表示する盤面を使って、コマを置く場所は数字で指定する。

クイズはタイトルそのままのクイズゲームで、選択式のルールを採用しており、こちらでも正解を数字で答えるという仕様だ。

クイズはかなり難易度が高い問題も出題されるが、ポポンは正直それほど手強くはない。ロボホンの処理スピードやメモリー容量の兼ね合いで、それほど高度な思考ルーチンを搭載できなかったのかもしれない。

### ■進化の土台が整いつつある

以上のように、16年6月のアップデートでは、コミュニケーション面を中心に全体的な機能強化が図られている。ただ、エンターテインメント性は向上したが、実用的な新機能はほとんど搭載されなかった。遊べる機能は増えているものの、アップデート後も「愛玩用ロボット」という位置づけは大きく変わっていないというのが筆者の正直な印象だ。

しかし、アプリケーションを追加できるようになった点は大きな進化と言える。16年6月29日には「ロボホンアプリ開発環境」の一般公開が開始されており、サードパーティーによるアプリ開発、公開の環境が整いつつある。シャープ以外からも追加アプリがリリースされれば、ロボホンは急速に進化を遂げていく可能性がある。そのなかには実用アプリが多く含まれることも期待できるだろう。

「ロボホンアプリ開発環境」は、ロボホンの公式サイトマイページにログイン後に無償で入手できる

Google  
サービス  
との連携  
機能、  
LINE、  
Instagram  
や  
Twitter  
などの  
SNSへの  
投稿機能、  
簡易監視  
カメラ機  
能などなど、  
実用的なア  
プリアが  
多数登場し、  
ロボホン  
が可愛ら  
しくも頼  
もしいア  
シスタン  
トロボッ  
トに成長  
すること  
を楽しみ  
に待ちた  
い。(ライ  
ター ジ  
ヤイアン鈴木)



The screenshot shows a web browser window displaying the RoboHon support page. The URL is <https://robohon-support.zendesk.com/hc/ja/articles/221695187>. The page title is "ロボホンアプリ開発環境はど...". The main heading is "ロボホンアプリ開発環境はどのようにして入手できますか?". The content is divided into two sections: "【一般のお客様】" and "【法人のお客様】".

**【一般のお客様】**  
ロボホンアプリ開発環境は、マイページにログインして入手いただけます。ロボホンのサイトのトップページ右上「マイページログイン」からログインして、メニューの「ロボホンアプリ開発」を選択してください。  
※アカウントをお持ちではないお客様は、「マイページログイン」でまず新規会員登録を実施してください。

**【法人のお客様】**  
アプリ開発環境をご希望の法人様は専用のお問合せフォームより、必要事項をご記入の上、ご連絡ください。  
[専用のお問合せフォームはこちら](#)  
※お問合せの受付は現時点では法人様のみとさせていただきます。

ヤイアン鈴木) [日経トレンディネット 2016年8月4日付の記事を再構成]

**神経回路の維持に必要な分子を特定 発達障害解明に期待** 朝日新聞 2016年8月19日

大人の成熟した神経回路を安定して維持するために必要な分子を、東京女子医大や東京大の研究チームがマウス実験で特定した。発達障害の仕組み解明に役立ちそうだ。18日付の米専門誌ニューロン（電子版）に発表する。

神経回路は子どものころに発達し、大人になると変化しないと考えられてきたが、成熟した神経回路を安定して維持する仕組みがあることがわかってきた。例えば、マウスの視覚を担う脳の領域で、神経回路が維持されるには適切な光の刺激が欠かせない。

研究チームは、大人になったマウスが光の刺激を受けると、「代謝型グルタミン酸受容体1型」と呼ばれる分子が、この領域で急に増えることを見つけた。この分子は神経細胞の外からの情報を細胞内部に伝える働きがあり、作れなくすると、余計な神経回路ができて、正常な回路が維持できなかつたという。

東京女子医大の宮田麻理子教授（生理学）は「自閉症などでは、神経回路が安定して維持されないという報告があり、これらの発達障害の脳の働きの解明につながる可能性がある」と話している。（瀬川茂子）

**<岩手国体>食で盛り上げ 新作弁当など発表**



河北新報 2016年8月19日  
岩手国体と全国障害者スポーツ大会を盛り上げるため開発されたおもてなし弁当商品

10月の岩手国体と全国障害者スポーツ大会を食で盛り上げようと、新作おもてなし弁当商品の発表会が18日、盛岡市であった。

開発したローソンとイオンリテール、東日本高速道路の3社と国体・大会実行委員会関係者ら約30人が出席。実行委作成の「おもてなしレシピ集」を活用した11商品が披露された。

ローソンは岩手県産の鶏肉や野菜、三陸産のサケやサメを使った弁当（税込み580円）、県産ヤマブドウゼリー使用のムースカップケーキ（248円）、クルミ入り黒糖風味の蒸しパン「がんづき」（130円）を開発。弁当とカップケーキは県内で、がんづきは東北6県で9月27日に発売する。

イオンリテールが開発したのは、いわて短角牛の牛飯（1058円）、三陸産のサケとワカメを使ったおにぎりセット（321円）。10月1日に県内のイオンやマックスバリュなどで販売を始める。

東日本高速道路は東北自動車道上下線の前沢、紫波、岩手山の各サービスエリア（SA）で、冷麺や前沢牛のちらしずし、まめぶ汁など各SAオリジナルのセット料理を用意。9月4日に提供を始める。

試食した達増拓也知事は「全ておいしかった。食で全国制覇できる実感がある」と話した。

